

お寺の三大財務リスクと解決策

株式会社BestLife

上坊 (うえぼう)

寺院財務コンサルタント

お寺の50年、100年先を見据えた未来設計



守りの財務戦略



計画的資金準備



攻めの資金活用

皆さんは「お寺」にどんなイメージを？

一般的なイメージ

- ✓ 「檀家さんが沢山いて安泰」
- ✓ 「お金に困ることはないだろう」
- ✓ 「安定した収入がある」

現実には厳しい状況に…

- ！ 少子高齢化と地域社会の変化
- ！ 檀家数の減少と財務リスクの増加
- ！ 一般企業と同等かそれ以上の厳しい経営環境

統計データから見る現実

- 📊 全国約7万7000の寺院のうち約1万7000が無住寺院
- 📊 寺院専業で生計を立てられる檀家数(300軒以上)は全体の12.2%のみ
- 👥 単身世帯増加・高齢化により檀家の負担能力も減少

お寺が直面する深刻な財務リスクとは？

今日は特に深刻な「**お寺の三大財務リスク**」についてお話します

人口減少がもたらすお寺への影響

檀家数の現状

寺院総数
約7.7万

無住寺院数
約1.7万
全体の22%

檀家減少の三つの要因

- ↓ 少子高齢化：高齢檀家が亡くなり、若い世代が継承せず
- 🏠 過疎化・都市集中：地方からの人口流出により地域寺院の檀家が減少
- 👤 単身世帯化：家族単位から個人単位への変化で寺との繋がりも希薄に

厳しい財務状況の実態

- 📉 寺院専業で生計を立てられる檀家数300軒以上は全体の12.2%のみ
- 📉 檀家数の減少率は年間約2%と推定
- 📉 地域によっては20年後に半減する予測も

人口減少社会において、お寺の収入源である檀家制度自体が揺らぎ始めています

この変化は、これからお話する「お寺の三大財務リスク」の背景となる重大な問題です

お寺の三大財務リスク① 事業承継資金



事業承継の課題

- ⚠ 息子に寺を継いでほしくても、安定した生活を保証できない
- ⚠ 家族を養い、生活水準を維持する給与・福利厚生確保が困難
- ⚠ 「継ぎたいが、生活ができない」という心苦しい現実

“「父の仕事を継ぎたいけれど、今の会社の収入や福利厚生を考えると家族に我慢を強いることになる…」

—ある寺院後継者の声

一般企業との比較

項目	一般企業	お寺
基本給	安定（平均30-50万円）	不安定・檀家依存
福利厚生	社保完備・退職金制度	不十分・自己負担
将来性	キャリアパス明確	檀家減少で不透明

事業承継の現実

- 📉 全国の寺院のうち22%以上が無住寺院に
- 📉 住職の子息の約65%が他業種へ就職（宗派調査より）
- 👥 300軒以上の檀家がないと専業困難

事業承継資金の課題解決には？

「攻め」と「守り」の生命保険活用で後継者に安心の生活基盤を提供できます

お寺の三大財務リスク②突発的な修繕費



数千万円〜

お寺の修繕費用の実例

- ✖ 本堂の屋根葺き替え：3,000万円～
- ▣ 柱の修復・補強工事：1,500万円～
- 本堂全体の改修：1億円～



現代のお寺が直面する修繕の課題

- ! 歴史ある建築物の維持には莫大な費用が必要
- ! 突発的な自然災害や経年劣化による予期せぬ修繕
- ! 文化財指定がなければ国からの補助金はほぼ望めない

寄付だけでは賄えない現実

- ⚠ 檀家数の減少により寄付集めが年々困難に
- 📉 平均的な檀家数（100～200軒）では大規模修繕費用を確保できない
- 💰 1檀家あたりの寄付負担額が増加し、離檀の原因にも

計画的な資金準備が不可欠

突発的な修繕に備え、「寄付に頼らない資金計画」が必要です

お寺の三大財務リスク③住職の退職金

住職の退職金問題



- ❗ 長年寺院のために尽くしてきた住職の**退職後の生活保障がない**
- ❗ 引退後の生活を次世代に頼らざるを得ない状況
- ❗ 寺院経営の持続可能性に大きな影響

セカンドライフの現実

95%

退職金制度
未整備

多くの住職は老後の生活設計において
厳しい状況に直面しています

セカンドライフ資金の問題

住職の退職金が準備されていない主な理由：

- 🏠 寺院の財務計画において後回しにされがち
- 🏠 檀家数減少による寄付・収入の減少
- 🏠 計画的な積立の仕組みが確立されていない

寺族への負担



精神的負担

親世代の経済的不安を子世代が背負う精神的プレッシャー



経済的負担

子世代が自身の家族と親世代を同時に支える「ダブルケア」状態

退職金問題を解決しないと…

住職と寺族双方に**大きな心の負担**となり
寺院の未来にも影響を及ぼします

生命保険活用による『攻め』と『守り』の財務戦略

『守り』の生命保険活用

- ✓ 万が一の際の**死亡保障**
- ✓ 残されたご家族の生活を守る
- ✓ 寺院の運営を滞らせない**お守り**の役割

事例：後継者不在時のリスク対策

- ! 突然の不幸で事業承継準備が間に合わないケース
- ! 寺院運営の継続に必要な初期資金の確保

『攻め』の生命保険活用

- ✓ 毎月の保険料を計画的に積立
- ✓ お寺の『**第二の財布**』として活用
- ✓ 必要なタイミングで**修繕費・退職金**に

企業経営的視点での活用メリット

- ✓ 修繕費用を計画的に準備できる
- ✓ 住職の退職金を明確に確保できる
- ✓ 税制面での優遇措置も活用可能

三大財務リスクを同時に解決

「守り」と「攻め」を組み合わせた生命保険活用で、お寺の50年、100年先までの未来設計図を実現

お寺の課題に特化した専門的な保険設計

これまで多くの住職様とお話する中で培った専門性で、お寺の未来を財務面からサポートします

まとめとリファerralのお願い

本日のまとめ：お寺の三大財務リスク

- 1 事業承継の資金問題：後継者が安心して寺院を継ぐための生活基盤確保
- 2 突発的な修繕費用：本堂の屋根葺き替えなど数千万円の大規模修繕
- 3 住職の退職金：セカンドライフのための資金が未整備

解決策：「攻め」と「守り」の生命保険活用

50年、100年先を見据えた寺院の未来設計をサポートします

具体的なリファerralのお願い

以下のような方をご紹介いただけませんか？

お寺の住職の方

🏠 ご実家がお寺の方

🏢 お寺に出入りされている業者の方（石材店、造園業、仏具店など）

💡 「お寺の財務にすごく詳しい、うえぼうっていう面白いコンサルタントがいるよ」とお伝えください

👉 本日チラシをお持ち帰りください